

福知副委員長（民主県政会）

令和3年3月11日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）新型コロナウイルス感染症による児童生徒の不登校への影響について

現時点での不登校の人数は、昨年度と比較してどのような状況なのか、また、不登校の児童生徒へどのように対応しようと考えているのか、併せて教育長に伺う。

（答）

不登校児童生徒の現状につきましては、昨年度と比較して、中学校では不登校生徒数は減少しているものの、小学校においては不登校児童数が増加傾向にあり、今後、各学校や市町教育委員会からの聞き取りを丁寧に行うなど、コロナ禍の影響も含めて、その要因や背景について、分析を行う必要があると認識しております。

今後の対応につきましては、コロナ禍による家庭環境の急激な変化や学校での児童生徒同士の関わり合いの減少などの課題を踏まえ、学級担任や養護教諭を中心としたきめ細やかな健康観察やストレスチェック等により、児童生徒の状況の変化を把握するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等も含め、チーム学校として、取組を進めるよう、各学校及び市町教育委員会を支援してまいります。